



広報

さるま

50/4

第211号

発行 佐呂間町役場 印刷 井谷印刷株式会社

私たちのまち

世帯数 2,584

人口 9,561

男 4,701

女 4,860

3月31日現在

新入生

新学期を迎え、新しい帽子、洋服、ランドセルと上から下まで新しいものづくめの、小学一年生が希望と喜びに、顔をほころばせながら登校する姿は初々しいものです。

この児童達が交通事故などにあうことなく、元気に通学できるよう、周囲の人達で見守ってあげよう。



定例第一回町議会

福祉の充実と

住民自治の確立

町長施政方針

昭和五十年は我が国にとって政治、経済、社会、文化の歩みに強い見直しを必要とする極めて重要な意義をもつ年であります。

私は、本日より開会される昭和五十年度予算の審議に当り、町政執行の方針を申し述べ、議員各位を始め町民の御理解とご協力を得たいと存ずる次第であります。

日本経済は、他国の資源に依存し、異常とも申すべき高度成長を成し遂げたのでありますが、中東戦争に端を発して石油資源の輸出規制、原油価格の四倍にも及ぶ高騰は、必然的に国際経済の混乱を招き、特に依存度の高い我が国の

産業、経済は将に経験せざる今日の高物価、不況インフレの要因と相成ったものと思うのであります。

更に、石油に次ぐ問題として、食糧の全体的確保とその配分が国際世論として台頭し、自給率の低い我が国としては当然農政、漁業政策の早急な転換が余儀なくされております。

これら緊急の事態に対する国の適正な措置については多くの論議がありますが、然し現況としては一日も早く物価の安定と不況対策こそ急務であり、政府は勿論国民こそ経済の量的拡大から質的充実に、そして安定した低成長路線

の確立に努めなければならぬと確信するものであります。

現状の経済混乱が地方行政に与えつつある影響が甚大であり、延いては、国政にも直接、間接に作動するが為に、今国会に於ても地方財政の硬直化対策が論議され現場の実態調査、制度改善が検討されつつあります。

私は地方行政の責任者として、内政的には現状に厳しい検討を加え、如何にして低廉、敏速な行政体を求め得るかどうかが、又、国道に対しては今日の社会、経済に対応した地方自治体の果すべき責務にふさわしい行財政制度の改善に

ついて強く訴える決意であります。私は、本年度予算編成に当り、以上申し上げました現状認識にたち、更に五十年度政府予算案と地方財政との関係についても検討を致したのでありますが、町財政を支えております地方交付税の、前年度対比伸長率は、僅か六%弱であり、今日の経済事情から判断し交付税の背景となっており、国税三税の進展は多く期待できず、町税に於ても減税措置がとられ、これ又増徴が困難であります。

一方経常費の大宗をなす職員給与については、経済不況とは申し乍ら高物価に相応する春闘の大幅なべアが予想され、このことが公務員給与改訂に影響する範囲はどうか、誠に予測し難い状況の中で作業を進め、先づもって継続事業に対する財政投入を確保致しますと新規事業財源は極めて僅少であります。

この貴重な財源の適正な配分、即ち事業の選択に当っては、日頃議会を通じて議員各位の御意見自治会長会議に於ける論点、町内各団体長各位のご意見、更には地区

労働組合の要請等広く民意を伺い重点的に配慮いたしたところでありますが、何分前段申し上げました財政の状況でありまして、残念乍ら多くのご要望に應えることが出来得なかったことは遺憾に思う次第であります。

当初予算に計上できない問題の内、特に急を要すべきものについては、債務負担行為として事業を先行し、然らざるものについては今後財源確保に最善を尽くし処理いたす所存であります。

尚永年に亘り据置かれてまいりました公共料金の性格を有するものについては、利用者負担の原則をふまえ、別途委員会を構成し、その適正を求めたいと思えます。

以下、各項に対する考え方と予算の概要について申し上げます。五十年度予算の総額は二億二千八百余万円で、対前年度比五・一%の増であります。四十九年度の給与の大巾上昇及び本年の特殊な事業であります国民宿舎建設事業費、特別養護老人ホーム運営費並びに富武士地区簡水の改良事業費を控除いたしますときは、四十九年度末予算に比べ大巾な減額と相成るのであります。

産業関係諸対策

農業

農業の基盤整備事業の促進については努力致しておりますが、公共事業の抑制により、全体的には四十九年並であります。

予算
総額
二十億八千万円



然し、北富地区に於ける営農用水事業については、その特性から成りの進捗を高めることができるものと確信致しております。
新規地区としては、栃木地区道管畑地の調査を計上致し、明年度着

工を期したいと存じます。
農村動力電気導入事業については、町費補助八百余万円を新に十八戸分に予定し、飼料作物等々の機械導入については、農振計画に基づくものを計画すると共に、

国、道費助成による機械導入についても、当初予算に計上の早期樹立を期したいと思っております。
その他、産業後継者対策費、知来右岸明渠排水整備費を配慮した。

林業

林業公社の設立に伴う援助対策を進め、将来の林業振興に資することと致したい。

水産業

流水災害の恒久対策の促進に努めるとともに、本年度災害資金利子補給等を計上したのであります。

商工業

経済不況に対応する金融措置の継続をはじめ、指導諸費の増額による態勢の充実に努めたいと存じます。
地域開発については、昨年度地下資源開発（温泉）のため、その筋の権威者と共に現地予備調査の結果、本調査をする必要があると考え、本年度参百余万円で本調査を行うように致した次第であります。

民生対策

社会的に不公平の是正の根幹である老人対策として、特別養護老人ホーム運営費、凡そ、六千万円を計上する外、重度身体障害者等の恵まれないかたがたに対する配慮更に、永年助産施設の実現を希望されてきたところの助産費の軽減対策として、国保事業と併立して現時点の経費に相当する額を四月一日から施設に代って助成することと致したのであります。

福祉バス購入に対しても強い意見の存するところでありますが、人件費の増高等の問題もあり、これ等該当者の団体的諸行事には全額町費負担による諸車の借上げ提供によって、不自由の解消を図りたい所存であります。

公共住宅の建設については、全体的には需要をほぼ満たしておりますが、浜佐呂間地区に対し八戸分、二千八百余万円を計上し、更に、勤労者住宅建設用地の造成、

分譲に当たっては、土地基金の活用を図り要望に応える次第であります。

消防力の充実強化についても多くの課題をかかえておりますが社会状況の変化に伴い、町全体の立場から重点配備が必要であり、この方針に則り充分検討の結果をまとめて次回予算計上する所存であります。

土木行政

自治会長を通じこれまで多くの要請を受けておりまして、生活生産の態様の変化であって民生の安定と生産環境整備の上からも当然と心得、既設道の維持改良をはじめ、共立農道整備、仁倉地区農道事業費併せて一、六六〇M、参千六百余万円の外、川西地区、大成地区の団体管農道整備に伴う諸負担、若佐市街町道改良舗装費参千九百万円、市街地周辺の防じん処理対策として八件、参千参百万円を措置し、加えて、冬期除雪対策の一環として、ブルトーザーの購入費、参千式百万を計上措置したものが主なるものであります。

尚、町内道々の改良については永年要望のあった佐呂間、栄間の事業着工について明るい見通しでありますことを申し添えます。

教育

その重要性に鑑み継続的な財投を配意して参りましたところでありますが、時代の推移に伴う新な

要請を受けつつあります。

本年度は、若佐中学校改築費五千五百万円、教職員住宅の整備施設の改良補修を重点に計上致し、総合グラウンド等の整備については財源確保に努力し本年中に整備を完了致したい所存であります。

交通対策

毎々指導啓蒙に重点をおいて災害の防止に努めつつありますが、今後に於てもよって来たる諸原因に照し、従前の方針強化に努める決意であります。本年度は、佐呂間市街の駐車禁止の実現がなされる見込みであり若佐地区、佐呂間地区の公立駐車場の整備を致したい。

水道関係

富武士地区の供給水量が必要にえられなないので、全額起債に求め完備を致したく計上致した次第であります。

国保関係

医療費の引上及び高額医療療養給付の増高のため、四十九年度より国保税を二五%アップして計上致した次第であります。

以上各項について方針、予算の概要を申し上げましたが、一方、執行に当たっては極力経常費の節減に留意し、庁内行政体形についても人件費の膨張を抑え、住民要望に應える態勢として、現行に深い検討を加え、近代行政に処して参りたい所存であります。

昭和五十年 事業計画の主なもの

昭和50年度 会計別当初予算

一 般 会 計	16億4千338万5千円
国民健康保険会計	2億8千 94万2千円
町 有 林 会 計	5千 27万9千円
佐呂間町簡易水道	1億3千274万7千円
一般乗合旅客運送	1千513万1千円
と 場 会 計	650万5千円
(繰 出 金 繰 入 金 重 復 額 4千73万7千円)	
合 計	20億8千825万2千円

◎総務費

町職員住宅建設工事 六百四〇万円

◎民生費

若佐保育所修繕工事 二〇万円
独居老人用福祉ベル設置工事 一〇万円

遠軽地区消防組合負担金 三千七二万三千円

老人クラブ連合会補助金 一二八万円

◎衛生費

浜佐呂間こみ捨場ろ過施設工事 一千六八二万九千円

◎労働費

失業対策事業 六四一万九千円

◎農林水産業費

農道除雪対策事業 四三万円
農村動力電気導入事業 八二一万四千円

甜菜收穫機械導入事業 一五六万円

土地改良事業 一五六万円

◎土木費

観光協会補助金 一〇〇万円

ブルトーザー購入事業 一千二二五万円

共立地区団体営一般農道工事 一千四三八万五千円

仁倉地区団体営一般農道工事 二千〇〇二万九千円

若佐市街南裏通り道路改良工事 一千九五七万二千元

◎教育費

へき地教員宿舍建設工事 三八〇万三千円

佐呂間小屋体修繕工事 一〇〇万円

若佐中学校改築工事 五千六八四万八千円

遠距離通学費負担金 四四四万八千円

体育協会運営費補助金六〇万円

小学校PTA補助金一三八万円

◎債務負担行為

土木費関係

・西富公住団地防塵処理舗装工事

・佐呂間富丘間道路舗装工事

・三十号道路防塵処理舗装工事

・自動車教習所道路新設工事

・学校教職員住宅建設工事 八戸

飼料作物生産振興対策事業 七〇〇万円

尿溜サイロ型榨購入事業 四五万円

地籍調査事業 一千五三九万九千円

農地集団化事業二八七万七千円

キマネツプキヤンプ場整備事業 三六万七千円

国民宿舍建設工事 三億〇〇三万五千円

乳牛防疫対策費補助金 九六七万七千円

優良種豚肥育用豚購入利子補給金 三二万円

土地改良事業補助金 五七三万二千元

産業後継者研修費補助金 一九五万円

民有林間伐造林事業推進補助 九六万円

四九年流水災害資金利子補給金 三二六万二千元

佐呂間町商工会補助金 三〇三万六千元

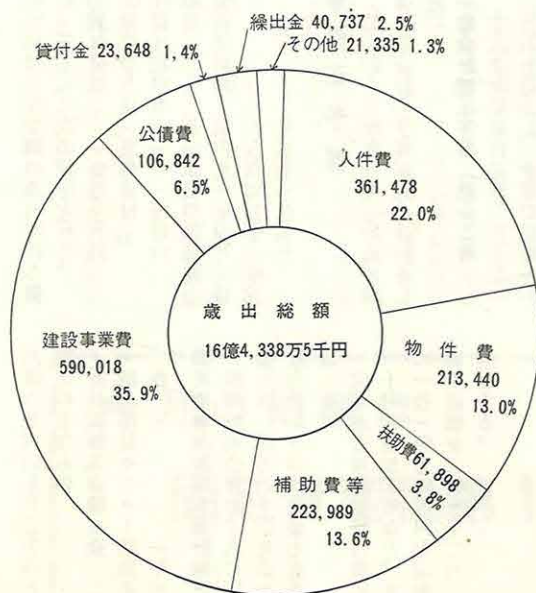
商工振興資金利子補給金 二二七万五千元

昭和50年度 一般会計予算内訳

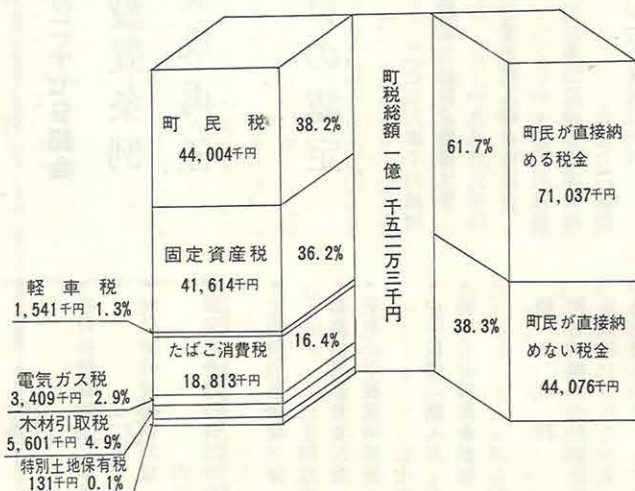
単位千円

歳 入 の 部					歳 出 の 部				
款	50年度 当初予算	49年度 当初予算	前年度と の比較	50年度予 算構成比	款	50年度 当初予算	49年度 当初予算	前年度と の比較	50年度予 算構成比
町 税	115,113	99,167	15,946	7.0	議 会 費	30,273	23,727	6,546	1.9
地 方 譲 与 税	8,976	7,000	1,976	0.5	総 務 費	198,222	159,055	39,167	12.1
自動車取得税交付金	10,591	7,000	3,591	0.6	民 生 費	218,884	141,300	77,584	13.3
地 方 交 付 税	698,052	579,821	118,231	42.5	衛 生 費	49,538	47,368	2,170	3.0
交通安全対策交付金	480	330	150	0.1	労 働 費	13,125	10,226	2,899	0.8
使用料 及 手数料	38,289	30,414	7,875	2.3	農 林 水 産 業 費	190,885	177,176	13,709	11.6
国 庫 支 出 金	131,159	107,999	23,160	8.0	商 工 費	334,305	22,866	311,439	20.3
道 支 出 金	118,003	57,262	60,741	7.2	土 木 費	191,649	132,190	59,459	11.7
財 産 収 入	118,824	15,383	103,441	7.2	消 防 費	37,258	27,799	9,459	2.3
繰 入 金	26,571	57,444	△30,873	1.6	教 育 費	226,487	239,882	△13,395	13.8
繰 越 金	26,000	16,000	10,000	1.6	公 債 費	106,842	86,795	20,047	6.5
諸 収 入	94,927	80,111	14,816	5.8	諸 支 出 金	40,737	35,387	5,350	2.4
町 債	256,400	50,900	205,500	15.6	予 備 費	5,180	5,060	120	0.3
歳 入 合 計	1,643,385	1,108,831	534,554	100.0	歳 出 合 計	1,643,385	1,108,831	534,554	100.0

才出性質の内訳



町税税目別内訳



定例町議会より

▼当初予算

昭和五十年年度一般会計及び各特別会計予算については別途記述しました。

▼条例の改正

国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険条例の一部を改正し、被保険者が出産したとき、その被保険者が属する世帯主に対して支給される「助産費」の額を二万円から四万円に引き上げられました。

簡易水道設置条例の一部改正

町簡易水道設置条例を改正し、一日最大給水量の単位を「トン」から「立方メートル」に改め、富士簡易水道の給水人口を「三百人」から「五百人」に、又一日最大給水量「六十屯」を「二五〇立方メートル」に改めた。

牧野設置管理条例の一部改正

牧野使用料の別表を改正いたしました。

印鑑登録及び証明に関する条例

印鑑登録及び証明の事務の合理化について、今たび自治省より「印鑑登録証明事務処理要領」が定められ、この要領にもとずき佐呂間町の印鑑登録及び証明に関する条例が改正されました。

改善された事項

- ・印鑑の登録をした者に「印鑑登録証」を交付する。
- ・印鑑登録の証明を受けようとする

る者は「印鑑登録証」を提示して印鑑登録証明書の交付を受ける。

・「印鑑登録証明書」は印鑑登録原票に登録されている印影の写しについて証明するものとする
・印鑑登録証を交付するときは手数料として一件五十円を徴収する。

注釈

今回の印鑑登録制度の改善により、印鑑証明書を受けようとする時に印鑑を持参しなくともよいが印鑑登録証を提示しないと本人であっても印鑑証明書は受けられません。又代人であっても印鑑登録証を提示すれば、委任状がなくても印鑑証明書は受けられます。

本条例は、本年六月一日より実施されます。

網走支庁管内町村公平委員会規約の一部改正

網走支庁管内町村公平委員会規約の一部が改正され、別表の中に「斜網畜産事務組合」が追加されて、「遠軽地区町村し尿処理組合」の名称を「遠軽地区衛生事業組合」に改められた。

職員の特種勤務手当支給条例の一部改正

新設された特別養護老人ホームの職務に従事する職員に次のとおり特殊業務手当を支給する。

- (1)生活指導職 給料月額百分の八
- (2)看護職 給料月額百分の十二
- (3)寮母職 給料月額百分の十六

総合福祉センター建設整備基金の設置管理及び処分に関する条例

例

総合福祉センターの建設整備資金に充てるため、総合福祉センター建設整備基金を設置する。

▼その他

固定資産評価審査委員の選任
三月二十一日で任期満了となる固定資産評価審査委員、芝昭夫さんが再任され、議会の同意を得られました。

佐呂間町中小企業特別融資制度要綱の運用に伴う資金元資の貸付について
昭和五十年年度佐呂間町中小企業

臨時町議会より(第二回) 二月二十七日開会

特別養護老人ホーム設置条例

収入役に 仲川卓美氏再任

昭和四十八年度

各会計決算の認定

▼補正予算

一般会計補正予算(第十一号)

才入才出にそれぞれ九千三百五十五万円を追加し、予算の総額を一億六千五百三十三万三千円とする。

- ・主なる事業費等の追加、更正は
- ・知事道議選挙費 八万九千六百円
- ・特養老人ホーム新築工事費減額

特別融資制度要綱の運用に伴う資金元資として次の貸付を行う。

- (1)貸付金額 一億七千万円
- (2)貸付の方法 証書貸付
- (3)貸付利率年 一・一％以内
- (4)貸付先 北海道信用保証協会
- (5)貸付期間 昭和五十年四月一日から昭和五十一年三月三十一日まで

▼補正予算

昭和四十九年度一般会計及び国保特別会計の予算が補正されました。

一般会計補正予算(第十二号)
才入才出にそれぞれ、三千五百〇万円を追加し、予算の総額を一億六千六百三十三万三千円とする。

六億六千六百七十三万三千円とする。補正の主なもの

- ・財政調整基金積立金 二千万円
- ・総合福祉センター建設基金積立金 一千五百万円

国民健康保険特別会計補正予算
国保特別会計の才入に国庫支出金八百一十四万四千円を追加し、一般会計からの繰入金七百七十九万を減額した。

又才出では療養給付費に九千二百六十六万円を追加するなど、才入才出に一百一十四万四千円を追加し、予算の総額を二億三千二百六十六万五千円とする。

二七三万三千円
・牧野排根線除去工事減額 二二七万六千円減額

・海外研修費補助減額 六〇万円減額

・国民宿舎建設費設計委託料外 一九一萬二千円

・土地開発基金積立金 二四九萬五千八百円

・道路橋梁調査委託金一三〇万円

・若里小学校便所補修工事 二七三萬五千元

・中学校備品購入費 六六三万円

・特別会計繰出金減額 三二〇萬五千元

特 別 会 計
町有林特別会計補正予算
新規設立された林業公社出資金の追加補正を行うものである。

町 葬 執 行

町 医 今 野 章 先生 急 逝

町民の健康管理と

へき地の医療に貢献

長年に亘り、街のお医者として町民から親しまれ、信望の厚かった今野章先生が、三月二十日突然

脳出血で倒れられ、御家族の看護の甲斐なく、翌二十一日早朝に五十四才の生涯を閉じられました。今野先生の急逝の報に接し、町民はもとより町外からも、数多く

の方から哀悼の意がよせられました。

先生は上湧別町に生れ、満洲チヤムス医大を卒業され、昭和二十二年に本町佐呂間医院へ来院され以来二十八年間、患者の診療に専念されるとともに、町医、学校医として一般町民や児童生徒の健康管理に御貢



故佐呂間医院院長今野章氏町葬告別式



献いただいており、風雪や深夜を問わず往診にも、気軽に町民の多くの方が先生のお世話になります。又先生は少年の健全育成のためにボイスカウトの結成に尽力されるなど、その温厚な人柄は幅広い層の人々から深く敬愛

才入才出に三百万円を追加し、才入才出予算の総額を四千三十九万九千円とする。

簡易水道特別会計補正予算

才入才出にそれぞれ一九八万一千円を減額し、才入才出予算の総額を三千四百七十九万九千円とする。

と場特別会計補正予算

才入才出にそれぞれ一千万円を追加し、才入才出予算の総額を六三万八千円とする。

一般乗合旅客運送事業特別会計

才入のうち道補助金として地方バス路線運行補助金百二十万円を追加し、一般会計からの繰入金百二十万円を減額したもので、才入才出予算の総額一千四二九万八千円はかわらない。

▼条例の改正

町税条例の一部改正

町税条例の一部を改正して、督促手数料二十五円の徴収制度を四

されていきました。

辺地の医師不足が深刻化している折から、本町にとってかけがえのない有為な人を失ったことは町民全体に深い失意を抱かせ、同氏の御逝去を惜しむものであります。

町では、先生の長年の御苦労と御功績に報いるため、町葬を以て葬儀を行うものとして、三月二十四日、佐呂間町体育館に於て、多勢の方々の参列を得て告別式が厳粛に執り行なわれ、御親族の深

月一日から廃止した。

公法上の収入徴収条例の一部改正

公法上の収入、徴収金についての督促手数料二十五円の徴収制度を四月一日から廃止した。

町職員定数条例の一部改正

町職員定数条例の一部を改正して、町長の事務部局の職員一名増員と特別養護老人ホームの職員二十三名、幼稚園二名の定数を定めた。

特別職の報酬額、費用弁償支給条例の一部改正

非常勤特別職(町議会議員を除く)の報酬額支給条例の別表、報酬額表を改正して、各特別職の報酬額を平均三〇%引き上げ改訂を行いました。

特別養護老人ホーム設置条例の制定

佐呂間町立特別養護老人ホーム

「愛の園」を永代町一七八番地の五に設置することを定めました。

▼その他

二級河川指定の同意

河川法第五條第四項に基づく二級河川の指定について、北海道知事から諮問があったので、これに同意いたしました。

指定河川名
幸町 安齊川
北 三線川

収入役の選任について

三月十六日で任期満了となる町収入役仲川卓美氏が再任され、議会の同意を得られました。

和昭四十八年度決算の認定
昭和四十八年度佐呂間町一般会計及び各特別会計決算について、議会の認定承認を得ました。
(くわしくは別紙財政状況の公表をご覧ください)

新入園児の交通事故防止



学校・幼稚園の近くは特に気を付けて運転しましょう

金 年 民 国

年金で安心ある暮らしを

国民年金が発足して今年で十四年目、年金などと言ってもまだ遠い将来のことと思われていました、が、佐呂間町では、現在、拠出別国民年金の受給者は一二〇人を超えました。

六五才以上の人口八五五人のうち、国民年金は老令年金八〇人、老令福祉年金五三四人、老令特別給付金一一五人、合計七二九人が年金をうけています。

このように、老令者の八五%にあたる多くの人の老後を支える国民年金が、どんなに有利か、そして頼りがいがあるか見直して下さい。これからは、老令年金を中心にして年金受給者の増加と、これまでたびたび行なわれた制度の改善は、加入者の年金制度に対する期待の高まりと関心を引き起しています。国民年金はそんなときどきの物価や生活水準に対応できる値打ちのある年金高に改められていきます。今年の九月から予定されている物価スライドによる給付額は別表のとおりです。

老後や不測の事故に對し役に立つために国と私達が協力して費用を出しあって助けあってゆこう。そうして老後の生活を守ろうとし

てできたのが国民年金の制度です。保険料を納めずにおくと、もし、交通事故等にあつた場合に障害年金や母子年金がうけられないことがあり、そして納期限から二年過ぎますと、あとで納めたくても納められなくなり、将来老令年金が受けられないことがありますので納め忘れのないよう保険料は納期限内に是非納めるようにして下さい。老後は一步一步確実にやってきますが、平穩な老後は間違いないくやってくるでしょうか。

Ⅱ老後は近く、老後は厳しく迫ってきます。決して他人事ではありませんⅡ

障害福祉年金の請求

心あたりの人 イマすぐに

医療制度が発達しているといわれている昨今ですが、多くの人が病氣やケガのために収入を得ることができず家族の収入により生活をしていきますが障害者の世話を十分につくせない面があります。

それを補うために国民年金の障害福祉年金が支給されることになっています。この年金は従来、障害の程度の一級に該当する重い障害者に限られていましたが、昨年四月から比較的軽い二級（おおむね身体障害者手帳三〜四級程度）に該当する人にも支給されるよう支

給の範囲が拡がりました。障害の程度

- (1) 手や足の片方を切断した場合。
- (2) 目が不自由で両眼の視力の和が〇・〇八程度の場合。
- (3) 耳もとで大声で話してもよく聞かれない場合。
- (4) 心臓や呼吸器又は精神などに障害があつて自分一人で動ける範囲は家の中に限られている場合などです。又、八以前に障害福祉年金を請求したが一級に該当しな

いたため支給されなかった人Ⅷ以前は一級に該当し支給されていたが、その後症状が回復し一級に該当しなくなったため支給停止となつていた人Ⅷ以上の人の中には、あらためて支給の対象となる方がおられると思われます。年金をうけられるのではないかとと思われる方は役場年金係に御相談願ひます。

なお、障害者自身が他の公的年金をうけているときや、一定額以上の所得があるときには、支給停止されることになっています。国民年金について知りたいことわからぬことがありましたらお気軽に係へおだすね下さい。

別表1 = こんなに上がる国民年金 = (50年9月実施予定)

年金の種類	旧年金額	新年金額
老令年金		
25年納付、附加年金込み	338,640円	399,941円(月々33,328)
10年々金	174,150円	212,463円(" 17,705)
5年々金	111,456円	135,976円(" 11,331)
	※50年10月	156,000円(" 13,000)
障害年金		
1 級	348,300円	424,926円(" 35,410)
2 級	278,640円	339,940円(" 28,328)
母子年金	子が1人のとき	278,640円 339,940円(" 28,328)
準母子 "	孫か弟妹が1人のとき	278,640円 339,940円(" 28,328)
遺児 "	1人のとき	278,640円 339,940円(" 28,328)
寡婦 "	夫が老令年金の受給資格があるとき	夫の受給額の半額 左記の額の22%増し

別表2 = 福祉年金も増額されます = (50年10月実施予定)

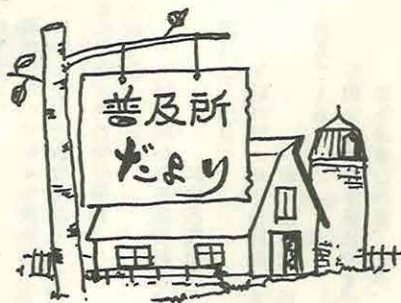
年金の種類	旧年金額	新年金額
老令福祉年金	90,000円	144,000円(月 12,000円)
障害福祉年金 1級	135,600円	216,000円(" 18,000円)
2級	90,000円	144,000円(" 12,000円)
母子福祉年金	117,600円	187,200円(" 15,600円)
準母子 "	117,600円	187,200円(" 15,600円)
老令特別給付金	66,000円	108,000円(" 9,000円)

※このほか支給制限も緩和されました。

野 犬 掃 討 期 間

自 昭和50年4月1日
至 昭和50年5月31日

4月にはりますと、小学校、幼稚園、保育所の新入児童が通学、通園することになり、犬を放し飼すると非常に危険です。犬を飼育している人は絶対放し飼しないで下さい。町では野犬掃討期間中放し飼されている犬は野犬とみなして殺処分しますので犬の放し飼はやめましょう。



乳 牛

四月は気温の上昇にともない乳量も増加の傾向があらわれ例年佐呂間町においては六月が最高の乳量を生産し四月は六月の八十%程度の牛乳を生産しています。

今月は次の点に留意して牛乳の増産と牧草の増収に努めましょう
一、粗飼料の給与

放牧をまじかにひかえ、粗飼料の確保量が少なくなり、品質も低下の傾向があります。

このような状況にあつて、濃厚飼料の給与量をやや多く与えるよ

紺 授 褒 賞 受 彰

永代町 小田 稔 氏

(佐呂間小学校へ教材備品を寄贈された)

幸 町 杉 谷 保 氏

(奨学資金を寄託された)

うにしましょう。

二、育成牛の運動

育成牛の多くは公共放牧地に放牧するものと思いますが、この放牧に耐え得るよう今のうちから運動、日光浴を十分させ筋肉や肢を強めておきましょう。

三、牧草地の追肥

追肥の量は営農計画作成の段階で定めているものと思いますが、追肥の時期については佐呂間町では例年五月一日前後が適期であります。本年は長期予報により春先の気温が高くこのためやや早めに追肥した方がよいでしょう。

四、乳質の改善

気温の上昇にともない二等乳の増加しやすい時期になりましたが普及所主催で実施した営農懇談会の時に配布した営農資料等を参考にして乳質の改善に努めましょう

融雪も順調に進み、土の香りとともに古葉の下から新しい芽が動き始めています。今年の長期予報も発表されましたが、不安定な年

のようです。基本的な地力づくりが天候に左右されない収量をあげ

るものです。今年も地力づくりを第一に考えたいものです。

水 稲

近年田植労賃の高騰、労力不足などから田植機の導入が目立ちますが、田植機による移植は使用する苗の状態や、水田の条件、田植機の運転調整技術などの良否が生育、収量にも大きく影響します。種子消毒についても、水銀剤の使用中止で従来と異った使用方法なので間違いないようにしましょう。尚、詳細についてはお問合せください。

て ん 菜

年々単位当たり収量の増加している要因は多肥によるものではなく管理技術、有機質の施用を改めて考える時です。必ずしも多肥が多収ではありません。育苗中の管理で発芽後の灌水過多による徒長苗、日中のハウス内温度の上昇などがみられます。光が強すぎたり温度が高すぎたりすると光合成が悪く軟弱な苗になりやすいので一七度前後の温度が望ましいでしょう。

馬 鈴 薯

地温が五度以上になると貯蔵中の種いもが萌芽を始めるので早目に掘りあげ直射日光をさけた風乾が必要です。種いも重量は一片四十グラムから六十グラム前後で三つから四つの芽をもったものを使用するよう心掛けましょう。

環境美化について

雪もとけて家のまわりにも土が顔を出し、かわいいフキノトウが芽を出しています。しかし、雪解けと共に目立つのが、冬の雪害の中にうまつたりしてたまったゴミの数々です。一面に何かしらおちてはいませんか。

一年の計は元日からいいますが、環境美化は雪どけから始めましょう。

まずはゴミを集め、燃えるものは乾かして燃やしてしまいましょう。燃えないゴミや冬のあいだにたまったゴミはまとめて、町で指定している所に投げてしまいましょう。家のまわりは片すけてスッキリと。

冬の閑しめきつていた窓ガラスをあげましょう。窓にはったビニールは取りはずし、窓ガラスもピカピカとみがき、あたたかい陽ざしを部屋の中に入れましょう。

家のまわりに美しい花が咲いているのは、見ていだけでも気持ちのいいものです。春の花壇にさく水仙、チューリップ、パンジーの可憐な姿は仕事につかれた時にやすらぎを与えてくれるでしょう。また、夏用の花壇を作りたいと思っている方がいらしたら今が準備の時です。マリーゴールド、サルビア、ケイトウなど色あざやかな花を咲かせてみましょう。

花壇づくりのポイント
(1)デザインはシンプルに、むやみに複雑にしないように。

- (2) 植える植物の種類を少なくすることです。
- (3) 色をあざりとするように。
- (4) 草花の性質を知り、植物の高さもよく考えた上でやりましょう
- (5) 花壇は小さめに作りましょう
- (6) よい土をつくりましょう。土の状態を調べてから必要な改良を行なうようにしましょう。

雪どけと共にいそがしさがまし

て来るとはいますが、美しく整備された環境で毎日を快適に送れるようにしましょう。

今月の納税は

固定資産税第1期です

= 忘れずに納めて下さい =



国民健康保険証が 新しく変わります

国民健康保険被保険者証は、四月一日から四月三十日までの間に新しくなります。新しい被保険者証の交付は次の日程により行いますので、町外の医療機関にあずけてある保険証は手許に保管しておいて下さい。

(学)などの保険証の交付をうけている方は四月中に役場に現在使用している保険証を提出しあらたに申請の上新しい保険証の交付をうけて下さい。

現在使用している保険証は五月一日から使用できなくなります。

国保保険証書受付事務

四月二十三日

午前九時から午後四時まで

浜佐呂間出張所

四月二十四日

午前九時から午後四時まで

若佐支所

四月二十五日

午前九時から午後五時まで

民生課窓口西富、知来、

富武士、若里
四月二十六日

午前九時から正午まで

民生課窓口北、東、佐呂間

四月二十八日

午前九時から午後五時まで

民生課窓口 佐呂間

出産見舞金が 支給されます

町では本年四月一日から国民健康保険の被保険者のうち町民税の所得割を課税されていない世帯で子供が生れた場合、出産見舞金を支給し分娩経費の負担軽減を図る制度を次のとおり新しく設けました。

記
一、趣旨
低所得世帯における出産に対し、出産見舞金を支給し、分娩経費の負担軽減を行ない住民の生活安定と福祉の向上を図る。

二、対象者
出産見舞金の支給を受けることが出来るものは本町国民健康保険の被保険者であって、その属する世帯の世帯主が当該年度に住民税の所得割を課せられていないもの。

三、支給額
出産児一人につき二万円

四、支給の方法
出産見舞金は国民健康保険法に基づく助産費の給付対象となるもののうち死産、人工流産を除くものに支給するものとし、出

産した者の属する世帯の世帯主に交付する。

五、この制度の実施

昭和五十年四月一日から

母子健康相談

四月十七日

午前十時

社会福祉会館

五月七日

母親学級

五月十三日

午後一時三十分

一般健康相談

毎週土曜日

午前九時三十分

社会福祉会館

五月十三日

午後一時三十分

家庭用ごみは 定められた日に 出しましょう

ごみ収集日

毎週

火曜日

佐呂間市街

水曜日

若佐、栄、富武士浜

木曜日

若里浜

土曜日

浜佐呂間

ごみは必ず収集当日の午前八時迄にごみ収集所へ出して下さい。

これ以外にごみを出しますと次の収集迄放置されますので、みなさんのご協力をお願いします。

優良三才児表彰

最優秀児 鎌田 千尋くん

(西富 鎌田 一司さん 長男)

平瀬 真由美さん

(若里 平瀬健一郎さん 長女)



平瀬健一郎さん長女の真由美ちゃんが選ばれました。

最優秀賞

鎌田 千尋くん(西富)

平瀬真由美ちゃん(若里)

優秀賞(順不同)

▼永代町 中原彰宏▼西富

佐藤稔▼宮前町 天内秀哲▼

富武士 湊 英樹▼若里 菊

地等▼宮前町 渡部和枝▼

浜佐呂間 渡辺由紀子▼中国

岡本奈美子▼永代町 中島亜

紀▼浜佐呂間 藤原真由美

二月二十八日に、優良三才児健康審査が福祉会館で行なわれました。

これは町内各地区で三才児の予備健康審査を通過された男児六名、女児六名の優良児の中から最優秀児を選考するもので、最近の幼児は、育児教育が徹底され体位の向上に著しいものがみられ皆んな健康で審査員の先生方も甲乙つけがたく、皆優秀児です。と話していました。

そして最優秀児には西富、鎌田一司さん長男の千尋くん、若里

農作業の事故防止



トクターなどの農機具を動かすときは回りに注意して

ぼくとわたくしの作品
今月は浪速小学校のおともだちの作品を紹介します



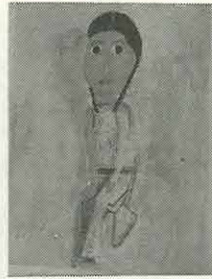
五年 内藤 明美

筆力があり、線が美しく書かれて
いるよい作品である。



六年 矢野 勝利

点画が非常にまじめに書かれてお
り、おちついた作品ですが筆力が
足りないのがおしい。



五年 鈴木久仁子

人物とバツクとの色合いが大変よ
いです。



六年 佐々木敏彦

動きがあり大変良く描かれていま
す。

特 志 寄 附

奨学資金に役立て下さい

一金 五拾万円也

永代町 今 野 タ イ 殿

(故今野章殿御逝去に際して)

一金 参拾万円也

浜佐呂間 齊 藤 大三郎 殿

(八十才の歳祝を記念して)

教員人事

転 出

(小学校)

市野 教義(幌岩小中)中湧別小

川村 伊三郎(佐 小)美幌東陽小

青田 一二() 網走西小

上杉十三郎() 清里小

矢萩 稔(仁倉小)遠軽小

佐藤 誠(浜 小)札幌美園小

小野寺由美子(浜小)清水旭野小

野口 甲美(若佐小)網走西小

小野寺 章(若佐小)網走南小

森 弘陽(栄 小)北見高栄小

橋本 史敬(栃木小)北見中央小

(中学校)

伊藤 忠志(佐 中)斜里中

池上 智() 北見上仁頃中

佐々木晴一(若 中)安国中

石川喜代次() 訓子府中

大関 博彦() 置戸中

転 入

(校長)

佐呂間小 保川正雄(東網走小)

浜佐呂間小 阿部正寿

(訓子府美園小)

知来小 岸本政吉(中雄武小)

仁倉小 齊藤与四政(美幌駒生小)

(小学校)

幌岩小中 飯田 秀雄(紋別小)

佐呂間小 後藤 省吾(西相内小)

森 隆英(滝上小)

中川浩次(網走中園小)

大村 めい(網走小)

”(特学)瀬山 幹夫(網走小)

”(養護)坂本 京子(新採用)

浜佐呂間小 篠原昭一(北見中央小)

”(事務)加藤 好貴()

富武士小 成ヶ沢由美子()

若佐小 伊部 和夫(上湧別小)

”(養護)山下 典昭(新採用)

栃木小 大沢 涼子()

(中学校)

佐呂間中 米沢 淳(網走一中)

熊倉 直孝(上湧別中)

若佐中 吉田貴美紀(安国中)

越野 通子(社名淵中)

広沢 淳二(上湧別中)

退 職

(校長)

伊藤 哲男(佐呂間小)

吉田 芳雄(浜佐呂間小)

多田 秀男(知来小)

中村 一郎(仁倉小)

(小学校)

後藤 隆子(佐呂間小)

岡本みどり(富武士小)

佐呂間高校

転 入

滝田 進(新採用)

嘉多村路夫()

原田 和子()

菊田 邦義(雄武中)

齊藤 誠哉(長沼第四小)

転 出

平間 進(釧路商業高)

平間リサ子(霧多布高)

西沢 優子(神奈川県立高)

小野 一道(旭川商業)

佐藤 邦生(厚沢部高)

町政日誌

三月

一日 国保運営協議会

三日 農業所得申告説明会

四日 社会文教委員会

十日 例月出納検査

十一日 議会運営委員会

十一日 定例第一回町議会

五一年度新規採択土

地改良事業協議

十六日 全町スキー大会

十七日 冬期農業講座

十七日 定例第二回町議会

十八日 選挙管理委員会

十九日 北海道知事選挙告示

町民の意見を聞く会

二十一日 臨時第三回町議会

佐呂間幼稚園終園式

二十二日 佐呂間保育所入所説

明会

定例教育委員会

二十三日 社会学級講座

二十四日 故今野章氏町弊執行

二十四日 冬期農業講座

二十六日 民生委員協議会

二十七日 佐呂間保育所終了式



警察だより

新入学(園)児を

交通事故から守ろう

入学期に事故が多いのは児童、幼児の生活が今までとかわることや交通事情になれないためです。そこで、次のことについてよく教えてください。

- ・繰り返して教える
安全な行動は習慣になることがたいせつです。
- ・そのためには、繰り返して正しい交通のルールを教えてください。
- ・やらせて、ほめてやる
「あぶないですよ」「気をつけるのですよ」これだけでは不十分です。
- ・いっしょに歩いて「ここへきたら立ち止まって、あの信号が青になったら渡るのですよ」というように教えて、実際にやらせてみてください。
- ・しつけの要点
道路の歩きかた
いつも右側のはしを歩かせる。歩車道の区別のあるところでは必ず歩道を歩かせる。
- ・横断のしかた
横断歩道や横断歩道橋、信号機のあるところを渡らせる。横断歩道のないところでは、立ち止まってまず右を見て、左を

このようなときをねらって特にアキスや自動車どろぼう、それにチカンも増えてきます。そこで、次のことに十分注意してください。

- ◆家をあげるときの注意
 - ・買い物や用たしに出かけるときは、必ず戸締りをする。
 - ・隣近所にもひとこと頼んで出かける。
 - ・合カギは、新聞受けや牛乳箱に入れないようにする。
 - ・南京錠など、表から見て「るす」とわかるような戸締りをしない。
 - ・夜間は、門灯などにより家のまわりを明るくする。
- ◆事務所などの注意
 - ・表戸、裏口、窓など、完全に戸締りをする。
 - ・ドアや窓に防犯ベルを設置する
 - ・無人となる事務所には現金を置かない。
 - ・終業時には、戸締りの状況を点検する。
 - ・夜間は、事務所のまわりを防犯灯などで明るくする。
- ◆自動車どろぼうなどにも注意
 - ・必ずドアをロックするくせをつける。
 - ・ちよっとの駐車でも、カバンや現金は必ず携行し、貴重品は車に置かない。
 - ・エンジンキーのつけ放しや、長時間にわたる路上駐車をしない
- 行楽期の犯罪を防こう
冬からの解放感と行楽シーズンを迎えるにつれて、これから家をあげることが多くなります。

昭和五十年

幼稚園入園児

- ◎宮前町
 - 久末鉄也(政明)、高木 努(政一)、宮嶋 聰(良和)、式地 義治(武雄)、永野 宏(健憲)
 - 鈴子博和(勝)、富木 暢(信雄)
 - 、沢井和宏(政義)、向井 睦(孝二)、工藤暢也(行雄)、吉岡洋美(弘)、久須田 肇(博)
 - 中原弘弘(信義)、滝田陽広(憲司)、松尾千智子(義春)、川田 陽子(忠勝)、青木 薫(軍三)
 - 鈴木万智子(輝明)、城 智子(勝美)、本多智美(文雄)、渡部 弘美(吉五郎)、河井めぐみ(清治)、田中祐規子(博)、平谷幸子(豊)、西田訓子(昭夫)、山腰順子(善一)、高橋宣子(亘)
 - 橋本恵理子(成二)、小林貴美子(正樹)、寺田五月(孝)
- ◎永代町
 - 山本貴典(守)、能智晴乙(則之)、岸 良明(柳太郎)、片平 勝也(勝義)、寺岡政昭(格)
 - 角 淳子(敏孝)、山本雅美(馨)、工藤まどか(洋)、船戸知美(和義)、十亀美穂子(伸)、小林由佳(邦義) 渡辺弥生(信雄)
- ◎幸町
 - 今井豊揮(文雄)、十亀利昭(昭一)、伊藤照博(彰治)、鈴木 由貴恵(翠信)、真田裕子(信一)、松田祐美(信幸)
- ◎西富
 - 阿部勝広(春吉)、菊地広一(広志)、佐々木康寿(武美)、直井彰宏(定幸)、宗村政彦(文枝)、井谷知満(寛)、川村浩樹(英二)、大谷宏明(慎二)、岩沢 淳(嘉昭)、本田利明(重雄)、山崎秀徳(哲男)、沢村直美(時雄) 佐々木光子(三郎)、垂水サカエ(勝)、松本英里子(量司)、川島かおり(由夫)、沼本順子(隆光) 峯田亀代美(ヤス子) 小林祐子(功夫)
- ◎東
 - 森田隆広(武治)
- ◎北
 - 斉藤みゆき(由紀夫)、丸山かおり(俊勝)、藤原幸子(貞夫) 山原摂子(功)
- ◎若 佐
 - 田中雅人(隆雄)
- ◎知 来
 - 小林千恵子(俊隆)

役 場 人 事

四月一日付

民生課長補佐兼任民係長を解き佐呂間町特別養護老人ホーム園長を命ずる 中村 一雄

民生課長補佐兼務を命ずる 川崎 謹一

産業学園主任兼務を命ずる 吉野 一利

産業学園主任を解き、工営課管理係長兼計画係を命ずる 田町 幸夫

工営課管理係長兼計画係を解き、教育委員会出向を命ずる 幸松 博義

総務課統計係長を解き、浜佐呂間出張所主任を命ずる 安藤 雄治

産業課農政係を解き、佐呂間町特別養護老人ホーム総務係長兼業務係長を命ずる 伊藤 豊

保健婦主査を命ずる 上谷 智子

保健婦を命ずる 小松 郁子

産業課地籍係を解き、農政係を命ずる 小川 正夫

財政課管財係を解き、賦課係兼徴収係を命ずる 山本 芳雄

財政課管財係兼務を命ずる 清原 伸一

工営課管理係兼水道係を解き、財政課財務係兼管財係を命ずる 桐山 三津代

民生課保健衛生係を解き、財政課賦課係兼徴収係を命ずる 大沢 孝司

財政課徴収係を解き、民生課保健衛生係を命ずる 寺本 稔

総務課庶務係を解き、佐呂間町特別養護老人ホーム総務係兼業務係を命ずる 金沢 美智子

若佐支所勤務を解き、総務課庶務係を命ずる 高瀬 栄子

企画調査室交通係を解き、総務課庶務係を命ずる 河合 之江

財政課賦課係兼徴収係を解き、工営課管理係兼水道係を命ずる 山本 弘子

総務課庶務係を解き、民生課年金係を命ずる 畠 沢京子

工営課水道係を解き、産業課地籍係を命ずる 吉野 文敏

総務課庶務係を命ずる 森岡 良夫

企画調査室交通係を命ずる 鈴木 敏子

企画調査室企画調査係兼交通係を命ずる 浅田 清

企画調査室企画調査係兼交通係を命ずる 深尾 彩子

若佐支所勤務を命ずる 藤沼 初江

民生課保健衛生係を命ずる 久米 美恵子

工営課水道係を命ずる 式地 勝美

佐呂間町特別養護老人ホーム技術補に補する 稲熊 澄子

寮母を命ずる 沖 啓子

佐野 扶美子

桜井 ヒデ子

佐々木 キミ子

宗村 文枝

山崎 信子

水戸 一子

菊地 喜久江

脇本 ヨシ子

松本 トシ子

神田 清子

小野 道子

影山 光江

中野 和子

三田 アヤ子

小林 登志子

中原 久美子

武田 正男

山腰 千枝子

中西 順子

村井 悦子

山本 ミヤ子

中野 ノブ子

名雪 加代子

有光 登美子

小杉 千佳子

須藤 順子

佐久間 一子

昭和五十年年度

固定資産税の納期について

昭和四十九年度の固定資産税の納期につきましては、地方税法の一部改正による、税負担の軽減措置を行うため、第一期の納期、四月一日から四月三十日までとなっております。四月三十日までとなっております。

第一期 四月一日から同月三十日まで
第二期 八月一日から同月三十一日まで
第三期 十月一日から同月三十一日まで
第四期 十二月一日から同月三十一日まで

教委辞令(四月一日付)

学校教育係長を解く 田町 幸夫
学校教育係長を命ずる 幸松 博義
(四月三日付)

佐呂間幼稚園長を嘱託する

伊藤 哲男

農委辞令(四月一日付)

農地係長を命ずる 有光 乙二

退職 三月二十九日付

願により本職を免する 主事補 石塚 多恵子

佐呂間町特別養護老人ホーム管理医を嘱託する 小田 稔

一日一円の

「交通災害共済」に加入しよう

まだ加入されていない方は早急に加入しましょう

—— 佐呂間町交通安全対策本部 ——

寄

付

社会福祉協議会へ

壹拾万円也(亡夫章殿香典返し)

永代町 今野 タイ 殿

貳万円(離町に際して)

浜佐呂間 吉田 芳雄 殿

貳万円也(亡母フヨノ殿香典返し)

川 西 本田 義三 殿

壹万円也(亡父栄作殿香典返し)

朝 日 結城 克実 殿

五千円也(亡夫寅男殿香典返し)

浜佐呂間 中野 英子 殿

壹万円也(金婚式を記念して)

知 来 山本 彦平 殿

貳万円也(亡母シワ殿香典返し)

富武士 福田松三郎 殿

壹万円也(亡妻ハツ殿香典返し)

浜佐呂間 源藤 邦夫 殿

貳万円也(亡母ヨウ殿香典返し)

武 士 徳永 舜一 殿

参万円也(亡夫久吉殿香典返し)

若 里 渡辺美津子 殿

参千参百九十円也

佐 呂 間 高 校

参万円也(亡母サツキ殿香典返し)

宮前町 吉岡 弘 殿

参万円也(亡父善治殿香典返し)

浜佐呂間 野崎 善之 殿

若佐老人クラブへ

壹万円也(亡母フヨノ殿香典返し)

川 西 本田 義三 殿

貳万円也(亡母キクノ殿香典返し)

中 國 門崎 友一 殿

朝日老人クラブへ

壹万円也(亡父栄作殿香典返し)

朝 日 結城 克実 殿

若里老人クラブへ

壹万円也(亡夫久吉殿香典返し)

若 里 渡辺美津子 殿

若佐小学校へ

壹万円也(亡母サツキ殿香典返し)

宮前町 吉岡 弘 殿

浜佐呂間老人クラブへ

参万円也(離町に際して)

浜佐呂間公民館へ

五万円也()

浜佐呂間小学校へ

五万円也()

浜佐呂間婦人会へ

参万円也()

浜佐呂間 吉田 芳雄 殿

富士士保育所へ

竹 馬 富士士母の会

カラリング外 富士士 佐々木則子 殿

佐呂間保育所へ

ひな段 一式 永代町 藤原 哲 殿

第十一回修了生一同

山本 雅美 殿

佐呂間保育所母の会

ピアノ椅子 一脚 西 富 宗村 文枝 殿

紙芝居 十組 高橋 亘 殿

参万円也(亡父善治殿香典返し)

浜佐呂間 野崎 善之 殿

武 士 徳永 舜一 殿

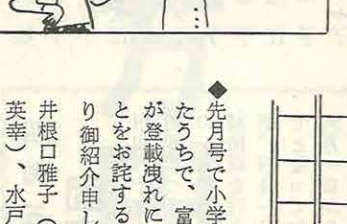
参万円也(亡母ヨウ殿香典返し)

武 士 徳永 舜一 殿

武 士 徳永 舜一 殿

武 士 徳永 舜一 殿

美穂工家



水打吟社

四月例題

「雪 汁」「春一番」

凍舗道自動車と話す巡査の手

眼裏に幻しの住む春燈

春一番柳の枝を床に押し

雪汁や休みて酒飲む山男

波もまた春一番のきらめきに

雪汁を眼の前にして啞然なり

五月の例題「麗」「水仙」

軒なだれ春一番にゆすられて

食に生き春一番の不況風

雪汁に晴れ着の路を封ざられ

春一番願望叶う日となりぬ

雪汁が心を結ぶ味となり

杉山和彦(恵美子)、住吉俊文(契)、五十嵐美砂江(久二)

八島 篤(寛)、佐々木みどり(武雄)

編集室



◆先月号で小学校一年生を掲載したうちで、富士士小学校一年生が登載されたことになりました。このことを御紹介申し上げます。

井根口雅子(忠)、湊 抄織(英幸)、水戸美智子(武士)

◆新年度予算編成も終了し、愈々新しい五十年代の幕明けとなりましたが、経済的不況時代とあって地方財政硬直化が論議されている中で、五十年各会計予算総額も二十億円を超える、大型予算となりました。

町民福祉の充実と住民サービスを最重点に、「よい人間づくり」と、「豊かな町づくり」をめざして努力したいものです。